

本日のプログラム

<職業分類委員会>

岡村委員長

2005年の高齢者比率（65歳以上）は政府統計によると20.16%で、2015年には4人に1人が高齢者になるという、世界的に類のない早さで本格高齢社会へと移行しています。また高齢化ばかりでなく、先天的障害や交通事故、スポーツ事故などにより、後天的に障害を持つケースもあり、もはや現代に生きるすべての人にとって、福祉や介護は避けて通ることのできない問題となっています。そうした人々が生活を楽しみ、意欲的に社会に参加するには、自由に、そして快適に移動できる手段が必要です。そこで中古福祉車両販売に結びつきました。福祉車両のあることで生活が、明るく楽しく変わります。そのためには、使われる人が、自分にあった車をいかに安く手に入れることができるかがとても大切です。ただ実際の普及率は1%にも満たないのが現状で、その存在すら知られていません。いろんな理由で家から出れない人に対し、もっと気軽に外出できる環境をつくってあげる、それが同じ年代でありながら、介護を受けることもなく、元気に現役で仕事をさせていただいている自分に課せられた役目だと思っています。また中古福祉車両を通じて、多摩オートセンターという会社を弱い人、困っている人の手助けになる情報を発信する架橋にしていきたいと思います。



<会員増強委員会>

関山委員長

6月3日に全国会員増強セミナーが行われましたので、その報告をいたします。日本は過去5年間（2001年6月～2006年6月）の地域別減少率が14.8%と最も高い数値になっております。これはいかに日本の会員増強が緊急で切実な問題であるかを意味し、再認識して皆さんと情報を共有していただきたいものです。しかし、日本のロータリアンの人口は年々減っていますが、女性ロータリアンに関しては増えているので、これは大変嬉しいことでもあります。

会員増強に懸念を抱いているかどうかのアンケートに関しては、85%の人が「はい」と答えました。さらに、会員増加に寄与した要因を尋ねたところ、地区会員増強セミナーの開催・脱会防止活動の増加・新会員勧誘活動の増加・楽しめるクラブ例会・クラブの指導力の充実・会員増加に対するクラブの強い熱意などが多く挙げられていました。また会員増強委員長の91%は、会員減少の原因はある条件に帰すると述べていて、その原因は新会員のためのオリエンテーションの欠如・会員のクラブ活動への参加の欠如・活発でないクラブ（クラブで活動やプログラムを十分に実施していない）・活気のないクラブ、プログラム・若い会員に対してクラブの魅力が乏しいこと・会員の高齢化・クラブ指導力の弱さなどが多く挙げられていました。

新会員の勧誘を積極的増強と言われ、現会員の脱会防止を消極的増強と言われていますが、何れも大切な事です。また我が川崎百合丘RCは、会員増強チームを5組に分けて、会員の増強に努めておりますので、皆様のお知恵を拝借し、ご協力をお願いいたします。

